

2006年3月27日
日立ソフト

日立ソフトが「Adobe® LiveCycle™」の活用を加速させる新製品を発売

～セキュリティ統制の強化や使いやすさの追求～

日立ソフト（代表執行役 執行役社長：小川 健夫、本社：東京都品川区）は、アドビ システムズ株式会社（代表取締役社長：ギャレット イルグ、本社：東京都品川区、以下 アドビ システムズ）が提供する Adobe® LiveCycle™ シリーズ製品である PDF の強固なセキュリティを実現する「Adobe® LiveCycle™ Policy Server（以下、APS）」と PDF を生成する「Adobe® LiveCycle™ PDF Generator（以下、PDFG）」の機能を更に強化する以下の3つの製品群を4月3日より提供開始いたします。

（1）APSのセキュリティ統制を強化し、運用業務をより効率化する付加価値製品

「活文® BizCabinet for Adobe® LiveCycle™ Policy Server」

（2）PDFGを使って Office 文書等から直接 Adobe PDF を生成する付加価値製品

「活文® PDFstaff® [PDFG 対応版]」

（3）既存ノウハウを活かして PDFG 環境を構築するための開発キット

「活文® PDFstaff® Migration Kit for Adobe® Acrobat® Distiller Server」

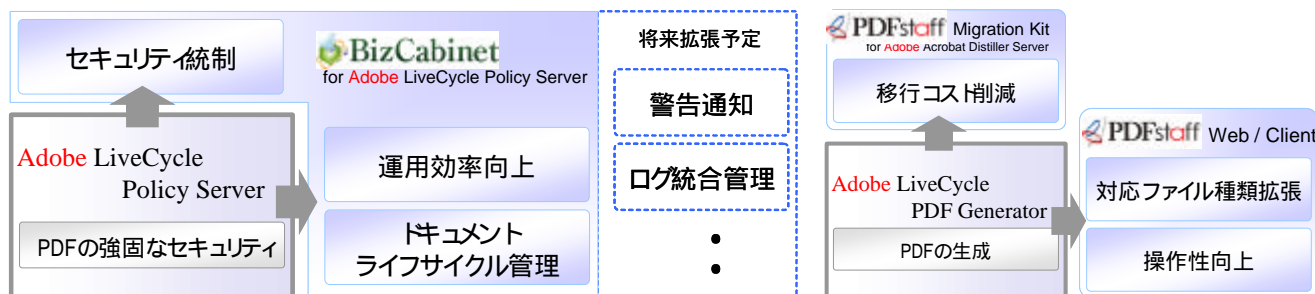


図1．各製品の位置付けと付加価値概要

<新製品の機能概要>

（1）活文® BizCabinet for Adobe® LiveCycle™ Policy Server（以下、BizCabinet APS）

APSは配布後のPDFに対して閲覧時の認証、印刷可否制御、強制失効、閲覧制限、透かし文字、履歴トレースなどの機能により強固なセキュリティを実現する製品です。BizCabinet APSは、APS上で稼働し、次のような付加価値を提供します

- (a)セキュリティの自動・強制設定により、セキュリティ統制を強化
- (b)PDFの自動破棄機能により、生成から破棄までのドキュメントのライフサイクル管理を実現
- (c)PDFとセキュリティの統合管理を可能にし、運用業務効率を向上

(2) 活文® PDFstaff® [PDFG 対応版] (以下、PDFG 版 PDFstaff®)

PDFG は PostScript ファイルをもとにして、サーバ側で動的に Adobe PDF を生成する製品です。しかしすべてのエンドユーザが Office 文書等を PostScript ファイルに変換することは容易ではありません。PDFG 版 PDFstaff は PostScript ファイルの変換を意識せずに、Office / 一太郎 / 画像 / HTML / テキスト などから直接 PDF への変換機能を提供することで、対応ファイルの種類を拡張し、エンドユーザの使い勝手を大幅に向上させます。また、クライアント数に依存しないため、全社レベルでの PDF 化を手軽に低コストで推進することができます。

なお、本製品は従来から販売している「活文® PDFstaff® [Adobe® Document Server 版]」の機能を限定した廉価版に該当します。

(3) 活文® PDFstaff® Migration Kit for Adobe® Acrobat® Distiller Server (以下、Migration Kit)

サーバ側で動的に Adobe PDF を生成する従来製品に、「Adobe® Acrobat® Distiller Server (以下、Distiller Server)」があり、これまで数多くの SIer などが販売をしてきましたが、PDFG の発売開始に伴い本年 9 月に Distiller Server が販売中止となります。システムやパッケージに Distiller Server を組んでいる SIer などは、Distiller Server の構築ノウハウを保有しており、販売停止後もそのノウハウを活かして PDFG を提供したいという要望があります。Migration Kit は、Distiller Server 互換 API を提供するものであり、Distiller Server の構築ノウハウを持つ SIer がそれを活かしながら、PDFG システムやパッケージをお客様に提供することを可能にする製品です。

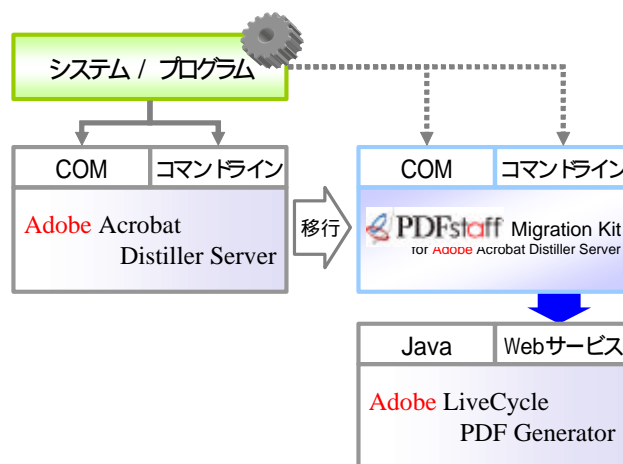


図 2 .Distiller ServerからPDFGへの移行

日立ソフトは今後も、アドビ システムズとともに Adobe® LiveCycle™ の補完製品群の提供を積極的に展開していく予定です。本製品は日立ソフトの販売パートナーを通じて、発売開始後 1 年間の販売目標額は 8 億円の売上を見込んでおります。

アドビ システムズ 株式会社の代表取締役社長 ギャレット イルグ氏は、次のコメントを寄せています。「Adobe® LiveCycle™ シリーズに日立ソフトが高付加価値製品を提供することにより、Adobe® LiveCycle™ シリーズを更に導入しやすい製品としてご提供することができるようになりました。これまでの日立ソフトのインテグレーション経験、製品販売を通じて得たニーズを元に作られた製品群によって、システムインテグレータ、日立ソフトの販売パートナーを通じて Adobe® LiveCycle 活用を加速させるものと確信しています。」

製品価格

| 製品名 | 標準提供価格 |
|--|---|
| 活文® BizCabinet for Adobe® LiveCycle Policy Server | (Adobe® LiveCycle™ Policy Server (100 ユーザライセンス) を含む) ¥2,940,000 (税別 ¥2,800,000) サーバ 1CPU あたり |
| 活文® PDFstaff® Migration Kit for Adobe® Acrobat® Distiller Server | (Adobe® LiveCycle PDF Generator (サーバ 1CPU) を含む) ¥1,443,750 (税別 ¥1,375,000) サーバ 1CPU あたり |
| 活文® PDFstaff® Web/Client [Adobe® LiveCycle™ PDF Generator 版] | (Adobe® LiveCycle™ PDF Generator (サーバ 1CPU) を含む) ¥1,401,750 (税別 ¥1,335,000) サーバ 1CPU あたり |

表示価格はライセンス提供価格のみであり前提となる Web Application Server、Data Base、LDAP、および構築費、ハードウェア費、メディア代などは含まれておりません。

上記ライセンスは、最小構成であり利用人数や利用頻度により構成は変わります。

上記価格の他に別途年間保守費用が必要になります。

- * 日立ソフトの正式名称は、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社です。
- * 「活文」「PDFstaff」は日立ソフトの登録商標です。
- * Adobe、LiveCycle、Acrobat、および Adobe PDF は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- * その他の製品名および会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

ホームページ <http://hitachisoft.jp/katsubun/>

< 本件に関するお問い合わせ先 >

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 社長室 竹橋、高野

Tel: 03-5780-6450 Fax: 03-5780-6455 e-mail: press@hitachisoft.jp

Adobe® LiveCycle™ 製品群について

Java 2 Enterprise Edition (J2EE) と XML をベースとした共通のサーバアーキテクチャで開発された文書処理を自動化するためのアドビ システムズが開発した共通のサーバプラットフォームを持つ製品群。Java API の提供ならびに Web サービスプロトコルに対応しているため、企業や組織で利用されている既存システムに大規模な再投資や複雑な変更をすることなく統合できます。

Adobe® LiveCycle™ Policy Server について

配布後の PDF に対して閲覧時の認証、印刷可否制御、強制失効、閲覧期限、透かし文字、履歴トレースなどの制御を実現。

Adobe® LiveCycle™ PDF Generator について

2006 年 3 月 2 日に発表された PostScript ファイルをもとにして、サーバ側で動的に Adobe® PDF を生成できるアドビ システムズのサーバソフトウェア。Adobe® PDF の生成と同時にセキュリティを設定可能。

Adobe® Document Server について

さまざまなリソースのデータをもとにして、サーバ側で動的に Adobe® PDF を生成できるアドビ システムズのサーバソフトウェア。2004 年 1 月に販売開始し、既に多くの企業で「基幹業務システムからの Adobe® PDF 自動生成」や「電子申請された Adobe® PDF ファイルから添付ファイルや XML データ抽出」、「Adobe® PDF 文書にダイナミックに透かし文字を挿入しセキュリティ文書を作成」などに活用されています。

PostScript®

アドビ システムズが開発した高品位の印刷可能なページ記述言語。Adobe® Postscript® ドライバをインストールした環境では、印刷コマンドを持つ全てのアプリケーションから PostScript® へ変換可能。

 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番7号 (日立ソフトタワーA)

TEL. (03) 5780-2111 (大代)

ホームページ <http://hitachisoft.jp/>